

管理栄養士教育プログラム

育成職種	管理栄養士
病院理念	一人ひとりの健康と安心の探求と実現
栄養治療部理念	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全・安心な食事の提供 2 治療に貢献する食事の提供 3 おいしい食事の提供
組織目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、安心・安全な食事を提供するための企業努力 2、治療食提供のための効率的な食事の提供 3、作業の合理化を図る 4、診療報酬改定に対する栄養部門の算定強化 5、栄養指導件数の維持・増加
教育期間	<p>入職後5年間程度、主な研修期間は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人研修 年1回4.5時間 ・NST研修 毎月1回1時間 ・基本研修 年3回6時間 ・実務研修 年2～3回6時間 ・全国国立大学栄養部門会議のBasicコース 年1回2日間9.5時間
教育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 栄養治療部開催のNST勉強会に参加 ・不定期 山口県栄養士会開催の生涯教育基本研修、実務研修、新人研修その他各研修会に参加 全国国立大学栄養部門会議のBasicコースに参加(入職後4年以内) ・入職後1か月目 調理業務研修(委託職種含む) ・入職後2か月目 変更係業務研修、個別対応献立作成業務、教育係の土日勤務に合せた研修勤務 ・入職後3か月目 調乳業務、直営側訂正係業務 ・入職後4か月目 委託側の訂正係業務 ・入職後5か月目 本格的献立作成業務 ・入職後7か月目 栄養管理計画書の退院評価業務 ・入職後2年目 栄養管理計画書の再評価業務、チーム活動研修 ・入職後3年目 継続栄養指導業務 ・入職後4年目 初回栄養指導業務
教育担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者 栄養治療部副部長 ・実務者 栄養治療部副部長が指導適任者として認めたもの
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1年目終了時 変更係・訂正係の仕事の独り立ち、栄養管理計画書の退院評価ができる。 2年目終了時 病棟訪問の独り立ち、栄養管理計画書の再評価ができる。 3年目終了時 継続栄養指導の独り立ち、栄養管理計画書の初回評価ができる。 4年目終了時 初回栄養指導の独り立ちができる。 5年目終了時 各チーム活動の独り立ちができる。
特記事項	栄養治療部新人研修のスケジュールは別添を参照

栄養治療部 新人教育の流れ

- 4月
(1ヶ月目) ・入社1～3日は病院全体のオリエンテーション、
その後2日程度部門のオリエンテーション
 - ・約1か月程度調理場で調理業務の研修（委託食種を含む）
※当院での実習経験があれば、この調理業務は省く場合あり
- 5月
(2ヶ月目) ・GW明けから変更係の仕事を行う（教育係がチェック）
 - ・教育係の献立作成成分の一部を新人が作成する（教育係がチェック）
 - ・教育係の土日勤務に合わせて土日の当番を行う（土日当番3人体制）
- 6月
(3ヶ月目) ・直営側の訂正係と変更係を1週間ごとに行う（教育係がチェック）
 - ・調乳業務を行う
 - ・変更係独り立ち
- 7月
(4ヶ月目) ・直営側の訂正係、委託の訂正係、変更係を1週間ごとに行う（教育係がチェック）
- 8月
(5ヶ月目) ・訂正係独り立ち
 - ・献立作成もローテーションに入る
 - ・土日当番は教育係と2人体制
- 10月
(7ヶ月目) ・土日当番独り立ち
 - ・栄養管理計画書の退院評価を行う（教育係がチェック）
 - ・教育係の病棟訪問に同席する
- 11月
(8ヶ月目) ・退院評価独り立ち
- 2年目～
 - ・栄養管理計画書の再評価を行う（教育係がチェック）
 - ・再評価独り立ち
 - ・その後、本人の力量をみて、栄養管理計画書の初回作成を行う（教育係がチェック）
 - ・チーム活動に参加
- 3年目～
 - ・教育係より継続の栄養指導の教育を受ける
 - ・継続栄養指導独り立ち
 - ・その後、本人の力量をみて、初回栄養指導の教育を受ける
- 4年目～
 - ・初回栄養指導独り立ち
- 5年目～
 - ・チーム活動独り立ち

新人以外の教育の流れ

*日本栄養士会開催の生涯教育基本研修（年3回）・実務研修（年2～5回）・その他研修会の参加

*全国国立大学病院栄養部門会議Basicコースの受講（4年以内）

*3年目までに山口糖尿病療養指導士・山口県肝疾患コーディネーターの資格取得

*その後各学会や日本栄養士会の認定資格取得を目指す